

## 1 国語の結果と今後の指導

### (1) 調査結果（全国平均との比較）

すべての領域でやや下回っている。

### (2) 今後の指導

- 文字数を満たして書くこと、条件に合わせて書こうとする力が身に付いている。今後も、発達段階に応じて決められた文字数で書く力、条件を満たして書く力、キーワードを使って書く力をさらに身に付けることができるよう指導する。
- 文章と図の両方から必要な情報を見つけてまとめる力を身に付けさせるために、国語科の説明文の学習や理科や社会科の図、資料、グラフ、写真が何を示しているのか、どの文章と結びついているのかを考えさせるようにする。
- 文章の中で意味を考え漢字を正しく使う、熟語として使えるようにする。また、「小学校漢字 1006 字 どの子も学プリ」を活用し、既習漢字の復習をする。
- 主語・述語・修飾語を授業の中で確認したり、文章を書く時にも主語・述語・修飾語を意識させたりする。

## 2 算数の結果と今後の指導

### (1) 調査結果（全国平均との比較）

- ・領域「変化と関係」については、上回っている。また、領域「測定」については、やや上回っている。
- ・領域「数と計算」、「図形」、「データ活用」については、やや下回っている。

### (2) 今後の指導

- 図形の面積の学習では、正しい答えだけでなく答えの求め方が定着するよう指導する。
- グラフの学習では、グラフの数の変化や項目の表す概念を理解できるようにする。
- 数と計算の学習では、問題文の内容を線分図で書き表し、何を求めればよいのか明確にさせる。また、線分図を用いて説明する場を設ける。

## 3 児童質問紙

### (1) 全国の数値を上回った設問例

- ・朝食を食べている。
- ・同じ時刻に就寝している。
- ・携帯等について家の人との約束を守っている。
- ・自分にはよいところがある。
- ・決めたことはやり遂げるようにしている。
- ・人の役に立つ人間になりたい。
- ・5年生までの授業で ICT 機器をほぼ毎日活用した。

### (2) 今後に向けて

小規模校で他学年と関わる機会が多くあり、優しい気持ちをもって行動している子どもも多い。今後も志授業やふるさと学習などで様々な人と関わり、将来の希望や夢をもてるよう指導していきたい。また、一人1台タブレット配付により、児童にとっては学習道具の一つになっている。学習に利用するための活用の仕方や自分で使い方をコントロールできる指導をしていく。